

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和5年9月13日(木)(午後13時30分～14時45分)
開催場所	戸田市福祉保健センター 集団指導室
出席者	<p>(委員)</p> <p>学識経験者(埼玉県立大学教授): 北畠 義典 蕨戸田市医師会: 早船 直彦 埼玉県南部保健所: 安達 昭見 蕨戸田歯科医師会: 板橋 裕 戸田市薬剤師会: 成塚 康之 戸田市社会福祉協議会: 松山 由紀 戸田市町会連合会: 永井 富治 戸田市商工会: 金子 秀一</p> <p>(その他)</p> <p>株式会社つくばウエルネスリサーチ(TWR): 鶴園 卓也</p>
欠席者 (委任状有)	<p>公募による市民: 前野 裕子 公募による市民: 小川 敬洋 公募による市民: 高橋 美幸</p>
事務局	福祉保健センター 木村所長、遠藤課長、石原課長、仙波課長、 長谷川主幹、新井主幹、野口副主幹、箱森主任
議題	<p>1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1) SWC 推進プランにおける健康増進計画など策定の進捗報告 (2) その他 4 閉会</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ SWC 推進プラン策定進捗報告 ・ 分析資料 ・ SWC 推進プランの策定スケジュール(案)

(会議発言の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会
TWR	<p>(1) SWC 推進プランにおける健康増進計画など策定の進捗報告</p> <p>SWC 推進プラン策定の進捗について報告し、委員の皆様から意見を頂き、よりよいプラン策定に向けて作業を進めていきたい。</p> <p>まず6月2日、第1回健康なまちづくり推進庁内会議で、有識者よりSWC推進プラン策定に向けたSWCの理念、今後のヒアリングや策定スケジュールについて説明を実施している。</p> <p>次に7月28日、8月2日にSWC推進プラン策定に関わる関係課へヒアリングを実施した。主な議論内容としては、公園や駅前空間と多世代交流、自転車利用、生涯学習、地域資源との協働、データの利活用やマイノリティへの支援等である。このヒアリングをふまえて、SWC推進プランの骨子案を作成し、8月24日に第2回健康なまちづくり庁内推進会議で説明を行った状況である。</p> <p>今後、9/末までに素案を作成し、10月にかけて完成版作成に向けた作業を進めていくことを予定している。</p> <p>データ分析結果はオープンデータを用いた、人口動態、健康寿命、死因等を分析し、併せてアンケートデータを用いて、主観的健康度、精神健康度等を分析している。併せて戸田市内を視察した結果等をふまえて、SWC推進プランの6つの柱を作成している。</p>
会長	<p>(質疑応答)</p> <p>アンケートの配布数と回収率はどの程度であったか。</p>
事務局	年代別に無作為抽出して3,000人に郵送し、47.5%の回収率であった。
委員	戸田市の70歳代の自転車利用は42%とのことであるが、年代別でみたときにどのような傾向がみられたか、戸田市に来て非常に自転車を利用する方が多く驚いた。
TWR	年代別では70歳代の自転車利用率が他の年代と比較して最も高い結果がみられている。
委員	戸田市は坂の無い地域であり、高齢者は歩くと膝を痛めてしまうことがあるため、自転車利用が増えるのではないか。
委員	主観的健康度について60歳代と50歳代等、年代別に比較しているが、前期高齢者と後期高齢者、又は65歳未満といった区分で評価できるか。

TWR	最終的な計画策定にあたっては、分析を進めていきたい。
委員	戸田市は男女とも健康寿命が埼玉県で低く、今回の結果は少し良くなったのかなという印象がある。前期高齢者の1人当たり医療費が県内ワーストというデータがあったが、最新のデータでみたときにどうか。
TWR	オープンデータには、年代別1人当たり医療費のデータは無い、KDB データを提供頂いたため、そちらで年代別の1人当たり医療費は確認できると思う。
委員	ヘルスリテラシーという言葉の意味について。
TWR	健康に関する知識及び知識を活用する能力を示す。
委員	精神健康度と主観的健康度について。
TWR	WHO による評価指標で 25 点満点中 13 点未満がうつ傾向である。
委員	国保、後期、社保等保険者別に健康状態の傾向を確認できるか、非常に興味がある。
TWR	アンケートで保険者を確認できるので可能である。
会長	収入等も健康状態に関連のある指標のため、可能な範囲で検証頂ければ。
委員	アンケート分析、オープンデータ分析をして頂く中でどのようなことが見えてきて、なぜこの6つの柱であるか、より明確になっていると良いと感じた。戸田市は健康寿命が短いことは昔から言われており、今後 SWC をどのように進めていくか見えてくると良い。
委員	喫煙率は今回のアンケート結果をみて、結構よくなっているような感じがした。過去と比較して良くなっている、というような評価もみえてくるとよい。妊婦の喫煙率が高いという、驚くような結果も過去にあったと記憶している。
会長	まさにこの間に市の施策でどのようなことをしてきたか、という点が気になる点である。
事務局	市の施策に加えて、たばこへの課税額が変わり、公共施設でも喫煙が進められてきており、環境の変化も大きかったかと考えている。
委員	80 歳以上の社会参加について、戸田市は地域で体操を実施しており、そのような

委員	<p>ものも位置付けてはどうか。</p> <p>私自身も TODA 元気体操に参加しており、週 1 回 30 人程度で活動している。ただまだまだ参加していない高齢者は多いので、その人たちをどのように取り込むかということを考えていきたい。</p>
委員	<p>この 6 つの柱はどれも大事なことだと思う、さらに、その内 3 つくらいでも、市民の方がみたときに、「戸田市ってやっぱりこれだよね」というような戸田市の特徴がつかっていると、市民の方も身近に感じてもらえると思う。</p>
委員	<p>防災意識をどのように高めるかが重要だと感じており、80 歳以上、独居高齢者をどのようにサポートするか。</p>
事務局	<p>9 月中に素案を TWR から戸田市に頂き、10 月に修正、おおよその完成版を作成し、12 月中頃にパブリックコメントを予定している。</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>